
夏目友人帳～心が見える少女～

水無月悠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏目友人帳〜心が見える少女〜

【Nコード】

N0291BA

【作者名】

水無月悠

【あらすじ】

心が見える少女と妖が見える夏目の物語。

第1帳 夏目と転校生

小さい頃から

時々

変なものを見た

他の人には

見えないらしい

それらはおそらく

妖怪と呼ばれる

ものの類。

ある日の朝、夏目貴志はいつもの道歩いていた。

「「おい、おはよー夏目」「

いつも一緒にいる北本と西村が挨拶をしてきた。

「ん？あつ、おはよう、北本、西村」

「そーえば、夏目、知ってるか？」

「えっ？」

「今日、転校生が来るらしいよ」

ある意味情報屋な北本が言う

「ふーん…、男かな女かな…」

「えっ！夏目、興味あんのっ！？」

「北本は、情報知ってるくせに興味はないんだよな」

「うるさいぞ、西村。まあ俺も、男か女かはわかんねーけどな」

「やっぱ、男子軍にしたら女だろ、なっ？夏目！」

「…いや、どっちでもいいけど…」

「女だったらしなのはお前だけだぞ、西村」

「ちえ…」

キーンコーンカーンコーン

古典的なチャイムが鳴り、教師が教室に入ってきた

「え、それでは転校生を紹介する。入ってきて」
ガラッ

「今日から一緒に勉強する、相川瞳さんだ。じゃあ、挨拶を」

「相川瞳ですっ！よろしくお願いします！」

明るく元気な一人の少女が大きな声で挨拶をした。

「じゃあ、相川さんの席は…おっ！夏目の隣が空いてるな…。あの銀髪の人の隣ね」

「はいっ。わかりました。」

…ガタン

「私、相川瞳。よろしくね」

「…よ…よろしく。」

ほがらかに笑う笑顔に、夏目は少し戸惑ってしまい、口下手な自分にため息をついた。

転校してきてから一週間。瞳は、学年の中で評判がよく、たくさん友達ができていた。

「瞳さんってさ、笑顔が可愛いし、愛想がいいから、評判たけーよな〜」

西村が独り言のように言う。

「「ああ…そうだな」「」

しかし、瞳の異変に夏目が気付いたのは、転校してから2週間後の

ことだ。

ある日、夏目たちが廊下を歩いていると、曲がり角から瞳が飛び出し、男とぶつかった。

「あつ…ごめんなさい…」

「いや…、別にいいよ…」

その瞬間、異変がおきた。

急に、男の胸ぐらを掴んだのだ。

「っ…どうして…どうして嘘をつくんだ！！ハッキリ言えばいいじゃないかっ！！」

「…はっ？意味わかんねー…放せよ！」

男は怒りを抑えぎみにして、去っていった。

「っ…。」

瞳は泣きそうな顔をして、壁にもたれ、そのまま座り込んでしまった。

「北本、西村、悪いが先行っててくれ」

「ああ…」

そし言ひよ、夏日は瞳のそばにいった。

第2帳〜夏目と瞳〜（前書き）

2話目です。

第2帳〜夏目と瞳〜

夏目は自分でもわかっていなかった。なぜ、瞳のそばにいったのか。なぜ、胸騒ぎがするのかが。

「あの…大丈夫ですか…？」

そばにいったものの、何を話せばいいのか考えていなかったため、ぎこちない喋りになってしまった。

「…ごめんね。叫ぶつもりはなかったのに…。抑えきれなくて…。」

やはり、何を抑えこんでいたのかわからない。

「よかったら、僕に話してみてくれないかな？」

「えっ？」

きよとんとする瞳。

「何を抑えこんでいたのか。なぜ、急に叫びだしたのか。…うまく言えないが、気になるんだ。」

はっきりと言う夏目に、戸惑う瞳は、ボソツと言った。

「…ムリだよ…。」

そして瞳は、キッと夏目を睨んだ。

「ムリに決まってる！！絶対わからない！！あなたにはわからない！！…私の気持ちなんて…。いいよね。普通に生まれてきて、毎日悩まず生きてる人は。偽善者ぶってる…」

急に瞳に、痛みが走った。

ビックリした瞳は、ネコがいることに気付いた。

「…えっ？」

自分はこのネコに殴られたと思うと、不思議でたまらなかった。

ニヤッ…ニヤッコ先生！

夏目は、ボソツと言うと、啞然としている瞳にあやまり、ネコを片手で持ちその場を去った。

「夏目くん…？（なんだっただんたろう？）」

第2帳〜夏目と瞳〜（後書き）

感想とか下さるとうれしいです。

文章がまだ稚拙なので、アドバイス等をしていただけると、感激です。

それでは、また次回をおたのしみをお願いします。

追伸

夏目友人帳13巻でましたね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0291ba/>

夏目友人帳～心が見える少女～

2012年1月6日22時54分発行